

【022】 次の表は、ある地方の種目別技能審査状況を示したものである。この表からいえることとして正しいのはどれか。

	年間実施回数	平成元年		平成2年		平成3年	
		受験者数 (人)	合格率 (%)	受験者数 (人)	合格率 (%)	受験者数 (人)	合格率 (%)
速記	2	2,522	48.9	2,985	42.3	2,574	42.1
秘書	5	17,947	45.3	18,148	44.4	20,824	44.3
レタリング	2	2,770	80.6	2,430	81.5	2,068	77.6
実用英語	4	13,012	49.2	16,241	47.3	17,617	46.0
毛糸編目	1	1,894	24.4	2,949	27.7	3,795	28.9

- 1 平成元年に対する平成3年の合格者数の増加率を比較すると、実用英語よりも毛織編物のほうが高い。
- 2 平成元年についてみると、合格者数が最も多いのは実用英語である。
- 3 平成2年についてみると、1回当たりの合格者数が最も多いのはレタリングである。
- 4 平成3年の速記とレタリングの1回当たりの不合格者数を比較すると、速記のほうが少ない。
- 5 平成元年から3年までの間において、秘書の合格者数は一貫して減少している。

【022】 1

実用英語 平成元年： $13012 \times 0.492 = 6401.904$ 平成3年： $17617 \times 0.46 = 8103.82$ $8103.82 \div 6401.904 \approx 1.27$

毛糸編目 平成元年： $1894 \times 0.244 = 462.136$ 平成3年： $3795 \times 0.289 = 1096.755$ $1096.755 \div 462.136 \approx 2.37$

2 秘書を見てみると、 $17947 \times 0.453 = 8129.991$ 上の計算と比べて、秘書のほうが多いとわかる。

3 どう見ても秘書のほうが多い。

4 速記： $2574 \times 0.579 = 1490.346$ レタリング： $2068 \times 0.224 = 463.232$ 速記のほうが多い。

5 平成3年は計算しなくても増えているとわかる。